

平成 29 年度第 3 回宍粟市広報広聴推進委員会

日 時：平成 29 年 12 月 8 日（金）

午前 10 時から午前 11 時 30 分

場 所：宍粟市役所北庁舎 401 会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

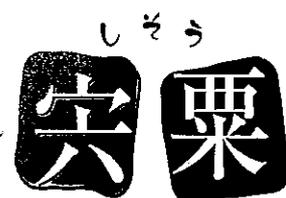
(1) 広報広聴推進委員会の運営方法の変更について

4. 報告事項

(1) LINE（ライン）の取組みについて

5. その他

6. 閉 会



宍粟市広報広聴推進委員会の運営方法の変更について（案）

平成 29 年 12 月 8 日（金）

1 趣旨

広報広聴推進委員会が対象とする業務内容が幅広いことから、委員会の中での議論が意見交換の場となっている。委員会の中でも、テーマを絞るとともに、部会制などを取り入れることの提案もあったことから、委員の方が目的意識をもって参加いただける委員会とし、活性化を図るため、委員会の運営方法を変更しようとするものである。

2 運営方法の変更について

委員会の運営方法を次の区分により行う。

- ① 全体会議：委員全員が出席し、総意を決する会議で、各部会の進捗管理を行う。
- ② 部会：各委員が、テーマ別の部会に分かれて議論し、そのテーマの充実にむけた施策を提案する。

3 全体会議及び部会の運営について

- ① 全体会議：年間 3 回程度実施する。
- ② 部会：全体会議の他に年間 3 回程度実施する。各部会の進捗状況により回数は増減する場合がある。全体会議と部会を同日に開催する場合もある。

4 部会のテーマについて

- <A部会>地域住民への情報発信（主にしそくチャンネルについて）
- <B部会>市民意見の聴取（広聴事業）の仕組みづくり
- <C部会>定住・移住に向けたシティープロモーション

平成29年・30年度委員会の展開予定

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会					1回目		2回目		3回目(提案)			
部会									1回目		2回目	

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会		4回目				5回目			6回目	7回目(必要な場合のみ)		
部会		3回目		4回目		5回目		6回目(部会最終)				

同時開催
異動等あり

同時開催

全体も最終予定

◆宍粟市広報広聴推進委員会委員名簿(H29.8.9～H31.3.31)

氏名	職名等	区分	部会(案)	備考
鎌田 恵司	宍粟市連合自治会副会長	自治会代表	地域住民への情報発信	委員長
平野 安雄	宍粟市商工会事務局長	団体代表	広聴事業の充実	副委員長
古根川 淳也	神戸新聞 宍粟支局長	市内有識者	地域住民への情報発信	
大柿 直記	宍粟市連合自治会副会長	自治会代表	広聴事業の充実	
前野 良造	しそ森林王国観光協会理事	団体代表	地域住民への情報発信	
春名 豊滋	宍粟市社会福祉協議会・山崎支部長	団体代表	地域住民への情報発信	
高田 佳一		公募市民	移住・定住シティーブ ロモーション	
前井 真貴		公募市民	移住・定住シティーブ ロモーション	
小野 文乃		公募市民	広聴事業の充実	
加藤 智子	宍粟市地域おこし協力隊員	森林セラピー支援業務	移住・定住シティーブ ロモーション	
樽本 勝弘	まちづくり推進部次長	市職員	移住・定住シティーブ ロモーション	
梶本 愛	波賀市民局まちづくり推進課	市職員	広聴事業の充実	

◆宍粟市広報広聴アドバイザー

井関 崇博	兵庫県立大学環境人間学部 准教授		移住・定住シティーブ ロモーション	(主に)
-------	------------------	--	----------------------	------

◆事務局

			担当	
坂根 雅彦	企画総務部	部長	-	
上長 正典	企画総務部次長	次長	移住・定住シティーブ ロモーション	
三木 義彦	秘書広報課	課長	広聴事業の充実	
小河 秀義		副課長	地域住民への情報発信	
西嶋 知栄		秘書係長	広聴事業の充実	
宮辻 貴之		広報係長	移住・定住シティーブ ロモーション	
亀井 俊宏		情報通信係長	地域住民への情報発信	
上月 恭子		広報係主査	広聴事業の充実	
池田 大千	地域創生課	定住推進係長	移住・定住シティーブ ロモーション	

LINE@による情報発信について

宍粟市では、平成 29 年 11 月、LINE 株式会社が運営するコミュニケーションサービス「LINE(ライン)」に、宍粟市公式 LINE@アカウントを開設しました。

LINE は国内利用者数が 5,000 万人を超えており、コミュニケーションサービスとして広く普及しています。宍粟市では、Facebook に加え、LINE でも情報発信をすることにより、一層多くの方に宍粟市の情報を届けます。(Twitter についてもアカウント開設済。運用開始)

発信内容

月 2 回程度、市からのお知らせ、観光やイベントなど宍粟市の魅力情報を発信予定。特にプッシュ型の情報告知機能を活かした発信を予定(災害時など緊急情報発信強化を目指す)。

アカウント詳細

LINE@は企業や自治体などの団体が、LINE をご利用の方に情報を発信できるサービス。

宍粟市公式アカウントは次のとおり。

- ・アカウント名:宍粟市
- ・LINE ID:@ejz2435t(変更可能であれば@shisocityに変更)

利用にあたっては、利用規約を確認・同意のうえ、アカウントを「友だち登録」する
宍粟市公式 LINE@利用規約 (別紙のとおり)

「友だち登録」の方法

LINE アプリを手持ちのスマートフォンなどにインストールした後、下記のいずれかの方法で、宍粟市公式アカウントを「友だち」に登録する。

→リンクからの登録:宍粟市ホームページ内リンクより誘導

→ID 検索からの登録:LINE アプリを起動し、「友だち追加」画面を開いて「ID 検索」ボタンを選択。文字を入力する画面になれば、「@ejz2435t(変更可能であれば@shisocityに変更)」と入力検索し、「宍粟市」を友だち登録する。

→QRコードからの登録:QRコード読み取り機能がついているスマートフォンをお使いの方は、LINE アプリを起動し、「友だち追加」画面を開いて「QRコード」ボタンを選択。読み取り画面が開くので、このQRコードを読み取り「宍粟市」を友だち登録する。

Check→いかにしてユーザーを増やす(「友だち追加してもらおう」)かが重要

ユーザーに友だち登録(追加)をしてもらうために必要な要素
 ユーザーへの『告知』(「気づく率」と『メリット訴求』(「なりたいと思う率」)

友だち数 = ターゲット数 × 気づく率 × なりたいと思う率

【ターゲット数】 市役所であれば「市民・来庁者数」、イベント会場であれば「参加者数」
 ホームページ等であれば「サイト訪問者数」など

【気づく率】『告知』 どれだけのターゲットに宍粟市が LINE@を導入していることを
 知ってもらえるかどうか

【(ユーザーが友だちに)なりたいと思う率】『メリット訴求』
どれだけのターゲットが「友だちになりたい!」と思ってくれるかどうか

双方のメリット

ユーザー リアルタイムに「気軽に」情報を受け取れるお得感



宍粟市 市政情報・防災情報など届けたい情報をリアルタイムに1:1で発信

「友だち登録(追加)」への勧奨手段

「リアル」と「WEB」を利用

「リアル」

実際にユーザーと接触する場所で「友だち登録(追加)」を促す。

- ① 市役所内やイベント会場にポスター掲示、チラシ作成
- ② 広報紙にてお知らせ
- ③ プレスリリース

「WEB」

インターネット上でユーザーに「友だち登録(追加)」を促す。

- ① ホームページ
- ② SNS(公式 Facebook、Twitter)

話題性を集め、一気に「友だち」を獲得する。

話題性を集めることで、口コミやネット上での言及、拡散が期待できる。

Check→「友だち登録(追加)」キャンペーンを実施

他市町キャンペーン例

明石市(明石市役所シティセールス課アカウント)

・【市外向け】

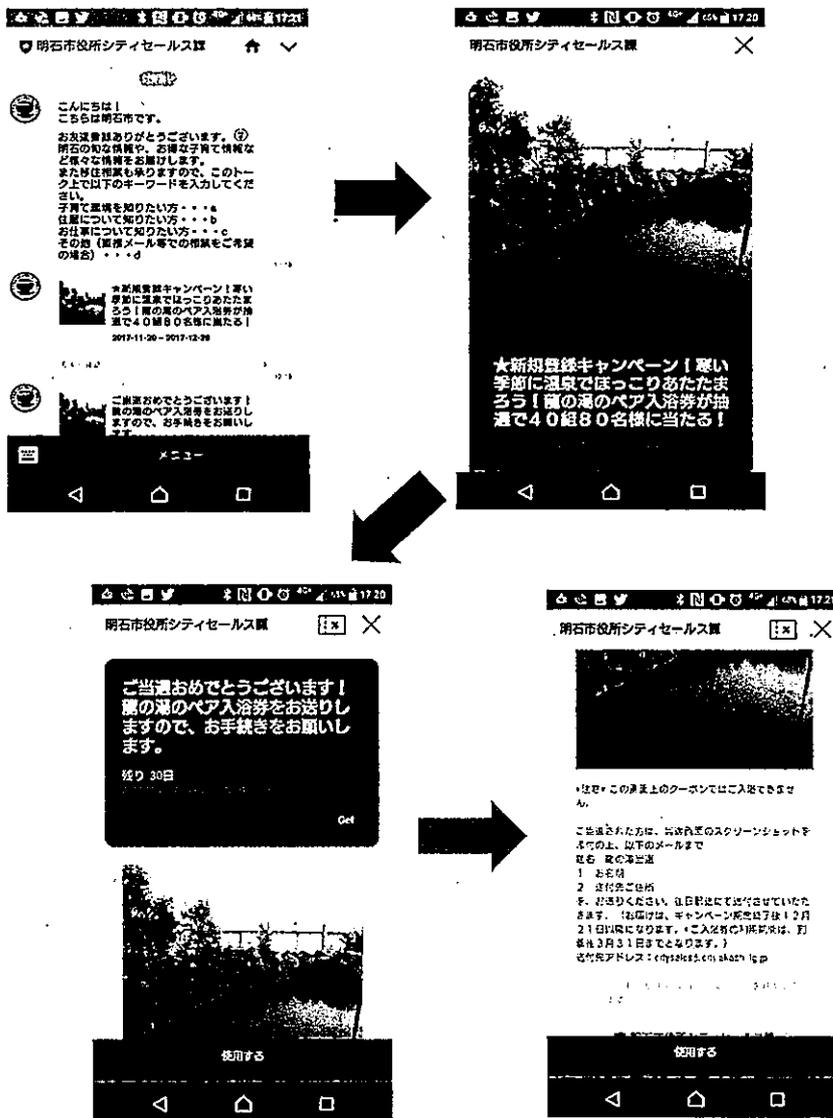
LINE@に登録していただいた市外在住の方全員を対象に、ハレハレ(子育て交流スペース・市民以外は有料)の無料クーポンをプレゼント

(キャンペーン期間:8/15~9/30、クーポン利用期間:9/1/~11/30)

・【全対象】

LINE@にお友達登録をしていただき、抽選で当選された方 40 組 80 名様に、天然温泉明石大蔵海岸龍の湯のペア入浴券をプレゼント

(キャンペーン期間:11/20~12/20、入浴券の発送はキャンペーン期間終了後、利用期間は3/31まで)



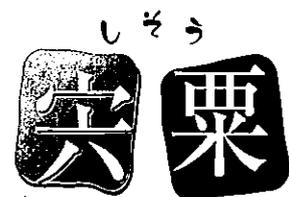
平成 29 年度第 3 回宍粟市広報広聴推進委員会（部会用）

日 時：平成 29 年 12 月 8 日（金）

午前 10 時から午前 11 時 30 分

場 所：宍粟市役所北庁舎 401 会議室

1. 自己紹介
2. 事務局より現状・課題の説明
3. 意見交換・方向性の調整
4. 部会の運営方法について
 - ①全体的な会議の運営計画について
 - ②次回日程について
5. その他
6. 閉 会



平成29年度広報広聴推進委員会（部会資料）

地域住民への情報発信
(主に「しそうチャンネル」について)

しそチャンネルの内容充実に向けた取り組みについて

1. 光ケーブル網の概要について

(1) 市の重要インフラとして光ケーブル網を整備

【資料1：整備前の市民向け説明資料】

※ 地域情報化に関する大きな課題への対応

※ 民間への聞き取り調査結果 ⇒ 民間光ケーブル網整備計画なし

(2) 光ケーブル網の活用状況

① 市役所からのお知らせ手段 ⇒ しーたん通信（H20年度～）

【資料2：しーたん通信説明資料】

② テレビ難視聴地域の地デジ対応（各テレビ組合からウイックサービスに移行）

※しそチャンネル ⇒ 文字放送中心（H21年度～）から現在は動画放送中心に

【資料3：しそチャンネル説明資料】

③ インターネット利用環境（情報格差解消）

④ 携帯電話不感地域対応（情報格差解消）

⑤ 教育活用（学校・図書館ネットワーク、学校インターネット、PC教室など）

⑥ 行政活用（情報システムネットワーク、議会中継、IP電話、ビル陰難視解消など）

⑦ その他（将来のインフラ活用）

2. これまでにいただいた主な意見への対応

(1) 取り組みが進んでいるもの

① 防災機能の充実等 ⇒ 防災情報連携システムの整備（H28年度）

【資料4：広報6月号・7月号しそチャンネル掲載記事】

② 画質の向上等 ⇒ ハイビジョン放送、データ放送（H29年度～）

③ 動画放送の増 ⇒ 取材・投稿ビデオ呼びかけ、撮影・編集業務経験者の参画など

④ 番組内容充実 ⇒ アドバイザー支援、撮影・編集業務経験者の参画など

⑤ 他事業者との連携 ⇒ ケーブルテレビ連盟、佐用町・上郡町との連携など

(2) 現時点で実現が困難なもの

① 視聴料金無料化 ⇒ ウイックサービス料金の変更が困難

② テレビ大阪再送信 ⇒ NHK・民放局の再送信同意が必要

(3) 引き続き取り組みが必要なもの

① 加入率向上 ⇒ 内容充実とともに加入率が低い地域へのPR強化

② 視聴料金見直し検討 ⇒ ウイックとの継続協議

③ 民間運営検討 ⇒ アドバイザー支援のもとで民間運営体制づくりを検討

④ 魅力的な番組づくり ⇒ 企画番組づくり、情報発信の多様化

資料1

(表面)

光ケーブル整備により新たな暮らしがはじまります

～赤粟市の全ての家庭が光ケーブルでつながります～

現在の赤粟市は次の大きな課題を抱えています。

- ①市役所からのお知らせ手段がバラバラであること。
- ②テレビの地上デジタル放送化への対応が喫緊であること。
- ③インターネット環境の地域間格差があること。

そこで赤粟市は

- ①平成20・21年度の2ヶ年で市の全域に光ケーブルを整備します。
- ②全ての家庭に市役所からの情報が行き届くようにします。

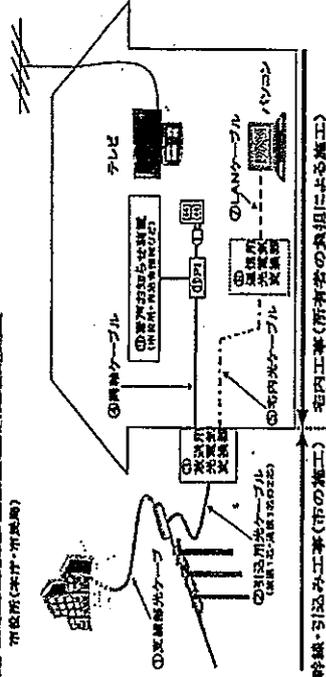
さらに赤粟市は

- ①「接続ケーブルテレビ（通称：ウイंक）」の民間サービスを誘致し、
- ②どの地域でも地上デジタル放送や多チャンネル放送が観られるようにします。
- ③どの地域でも高速インターネットサービスが受けられるようにします。

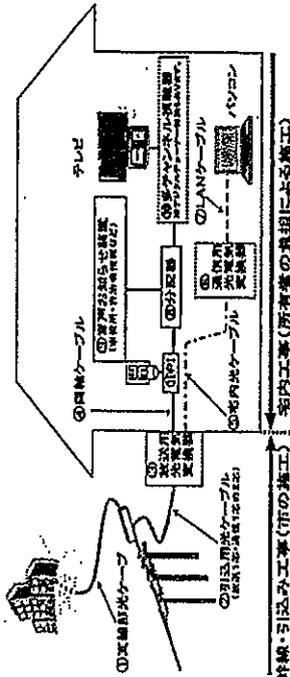
各家庭の回線イメージは次のようになります。

- 光ケーブルの敷設は市の担当となります。(①②③)
- 音声お知らせ装置は無料で取り付けます。(④⑤)
- 市内配線工事は各家庭で対応していただきます。(⑥⑦)
- (音声お知らせサービスのみ)の配線⑧(必須)に同じでテレビ・インターネットサービスの配線⑨の他⑩)
- 音声お知らせ装置の管理も各家庭で対応していただきます。

1) テレビを個人アンテナで受信する場合



2) テレビをウイंकサービスで視聴する場合



※④は⑥に電気を送るための④の付属品です。

～一面につき～

現在の赤粟市

1. 市役所からのお知らせ

一斉・24時間・多言語の発信：
ケーブルTV (1のまち情報)・市報

市役所(市役所) 山崎地区(山崎地区) 市役所(市役所)

2. 地上デジタル放送の普及

デジタル放送(デジタル放送) 地上デジタル放送(地上デジタル放送)

市役所(市役所) 山崎地区(山崎地区) 市役所(市役所)

基盤整備実施後の赤粟市

1. 市役所からのお知らせの一元化

市役所(市役所) 山崎地区(山崎地区) 市役所(市役所)

市役所(市役所) 山崎地区(山崎地区) 市役所(市役所)

2. 地上デジタル放送の普及

地上デジタル放送(地上デジタル放送) 地上デジタル放送(地上デジタル放送)

市役所(市役所) 山崎地区(山崎地区) 市役所(市役所)

～事業の推進につきまして、住民のみならず、市民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします～

～音声お知らせサービスとテレビ・インターネットサービス概要についで～

テレビ・インターネットサービスの月額利用料金と加入金

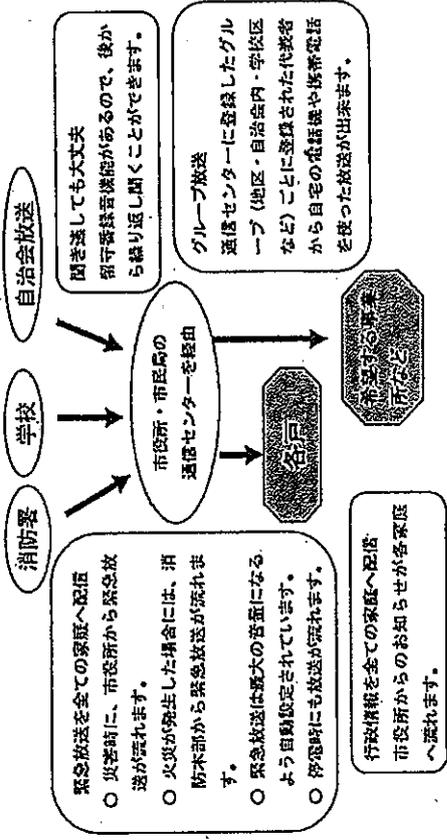
サービス	区分	月額利用料金	密約工事	ウイंक加入金	市加入金
テレビ	基本サービス (ケーブル・アパロク)	525			
	アパロクテレビ	525+1,050	実費		
	地上デジタル放送を見る ケーブルテレビ	≒1,575			
	BISデジタル放送を見る				
インターネット (プロバイダ別込み)	デジタルマルチチャネル	4,305		15,750	20,000
	高速 (100メガ)	4,200	実費	5,250	
	中速 (10メガ)	3,465			
	低速 (1.5メガ)	2,835			
有線	基本サービス		実費	5,250	
	デジタルマルチチャネル			21,000	

※テレビの月額利用料金にNHK受信料は含まれていません。
※加入促進期間(今後短縮します)に申込みされた場合は市・ウイंक加入金が無料となります。

- ◎ 基本サービスは、NHK総合・教育・毎日放送、朝日放送、関西テレビ、読売テレビ、サンテレビ、ウイंक独自放送・FMラジオです。テレビ大阪・テレビせとらの放送は含まれません。(営業市独自の自主放送も今後実施する予定です。)
- ◎ 基本サービス (525円) は、テレビを複数台接続しても月額525円です。
- ◎ アパロクテレビで地上デジタル放送を見る場合やケーブルテレビでBS放送を見るためにウイंकではデジタルSTBオプションサービスを行っています。サービス内容はこれらの放送を視聴するテレビにチューナー (STB) を買出しするもので、月額利用料は1台につき1,050円です。
- ◎ 多チャネルサービスは、映画・ドラマ・アニメ・ニュース・スポーツなどの放送です。

- ◎ **「音声お知らせサービス」**
市では、市内のどこにお住まいの方にも、防災情報をはじめとする重要なお知らせを均一かつ迅速に伝達する必要があります。
- ◎ 市役所 (市民局) からの防災・行政情報は、光ファイバ網を経由して、各家庭に無線で配付する「音声お知らせ装置」によりお知らせします。
(空家・別荘は有償となります。)
- ◎ このサービスの実施により、これまで地域ごとに異なっていた情報伝達の方法を統一し、防災情報などの緊急性の高い情報を各家庭に迅速に伝達することが可能となります。

音声お知らせ装置のイメージ



●お問い合わせ先 《営業市役所》
本庁 企画部企画調整課 TEL (代)63-3000 (傳)63-3065 FAX 63-3061
山崎市民局 まちづくり推進課 TEL 62-2000 FAX 62-7395 一宮市民局 まちづくり推進課 TEL 72-1000 FAX 72-1596
波賀市民局 まちづくり推進課 TEL 75-2220 FAX 75-3599 千種市民局 まちづくり推進課 TEL 76-2210 FAX 76-3379

しーたん通信

“しーたん通信”は、光ケーブル網を利用して、市役所や自治会、学校などから様々な情報を各ご家庭にお届けしています。防災情報などの重要なお知らせもあります。ぜひご利用ください。

★**緊急放送** 最大音量で、サイレンがなり、火災や災害などの情報が流れます。(避難勧告など)

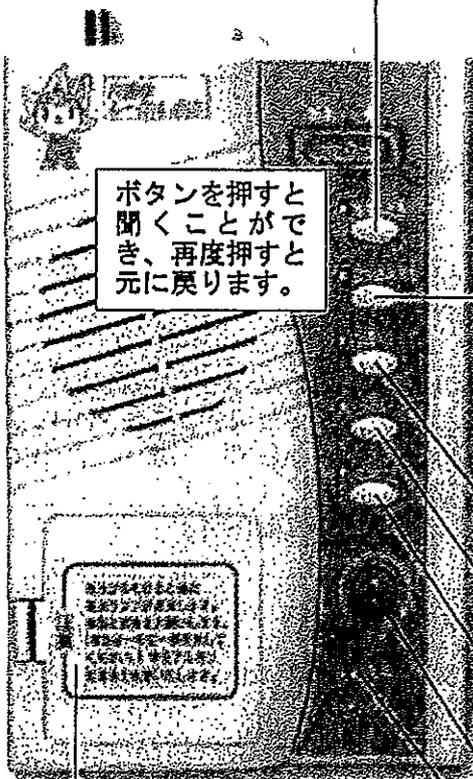
★**定時放送** 6時30分、12時15分、19時15分に市役所等からののお知らせが流れます。

★**ページング放送** 自治会や学校などからののお知らせが流れます。(行事中止、臨時休校など)

★**お悔やみ放送**(一宮・波賀・千種地域のみ)

12時45分または19時45分に通夜や葬儀のお知らせが流れます。

機器について



ボタンを押すと
聞くことができ、再度押すと
元に戻ります。

地域放送再生

ページング放送、お悔やみ放送など、地域別の放送の再放送を聞くことができます。

●最新の放送4件まで録音しています。

(1件につき2分まで)

新着録音がある場合ランプが点灯します。

5秒長押しすると消えます。

定時放送再生

市役所からの定時放送の再放送を聞くことができます。(前24時間分の放送が繰り返し再生されています)

①チャンネル

市の特別番組を聞くことができます。

例)市議会本会議・中学生議会(生中継)、
市長・市議会選挙開票速報など

②チャンネル

ラジオ NHK-FM を聞くことができます。

③チャンネル

ラジオ FM-GENKI を聞くことができます。

音量調節つまみ

乾電池収納ボックス

停電時でも単3乾電池4本で放送を聞くことができます。電源ランプが点滅した場合は、乾電池を交換してください。

電源ランプ

点灯:正常

点滅:電池容量不足

(アダプターが抜けている)

しーたん通信機器は通常は、「電源ランプ」のみ点灯しています。

しーたん通信番組表

	定時放送	ページング放送	地域放送再生	定時放送再生	1チャンネル	2チャンネル	3チャンネル
	行政情報	自治会・学校等からの	ボタンを押すと聞くことができます。				
			ページング放送、臨時放送、お悔み放送の再放送	定時放送の再放送	議会中継等	NHK-FM (終日)	FM-GENKI (終日)
6:30	○市役所からのお知らせ						
12:15	○市役所からのお知らせ						
12:45	○お悔やみのお知らせ(一宮町・波賀町・千種町のみ)						
18:00	○帰りましょう(4月1日～9月15日は18:00 9月16日～3月末は17:00)						
19:15	○市役所からのお知らせ						
19:45	○お悔やみのお知らせ(一宮町・波賀町・千種町のみ)						

故障かなと思ったら・・・

症状	原因	対処方法
放送が流れない	音量が最小になっている	音量調節つまみを右に回して音量調節をしてください。
	同軸ケーブルが外れている	端末上部の接続口を確認し、外れていたら再接続してください。
	V-ONU(放送用光電気変換器)が外されている	家の軒先のV-ONU(灰色の箱)がきちんと設置されているか確認してください。設置されていないときは問合せ先へ連絡してください。
	屋外の線が切れている	家の周りの線が切れていないか確認してください。切れているときは問合せへ連絡してください。
電源ランプが点滅している	電池が入っていないか、電池が消耗している	電池を交換してください。(単3乾電池4本)
	電源アダプターが抜けている	コンセントと端末を確認し、抜けていたら差し込んでください。
放送が流れ続けている	再放送が流れている	定時放送再生ランプが点灯していないか確認し、点灯していたらボタンを押してください。

◆接続の申込み・機器の不具合の問合せは・・・

◆放送内容についての問合せは・・・

中央市役所 秘書広報課 TEL 63-3115

夜間、土・日・祝日の
緊急時の問合せは・・・
中央市役所
TEL 63-3000
へお願いします。

しろうチャンネル

“しろうチャンネル”は、光ケーブル網を利用して、宍粟市の行政情報や災害情報、市内各地の催しなどを配信するケーブルテレビです。ぜひご覧ください。

★チャンネル番号 111

★放送時間 6時～24時

文字放送

文字と音声で行政情報などをお知らせ

- 各種相談
- 参加者募集
- イベント情報
- 動画番組情報
- 市職員募集
- 写真ニュース

動画放送

イベントなどを動画番組で放映

- 《番組例》(H28 年度実績)
- ・ちくさ桜まつり
 - ・さつきマラソン
 - ・自治会ソフトボール大会
 - ・理科おもしろ実験教室
 - ・山崎納涼夏祭り
 - ・波賀ふれあい運動会
 - ・いちのみやふるさとまつり など

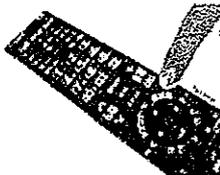
緊急放送

緊急・災害時にL字、文字で緊急情報をお知らせ

- 河川増水時河川情報
市内 12 箇所の河川画像
- 災害時の緊急情報

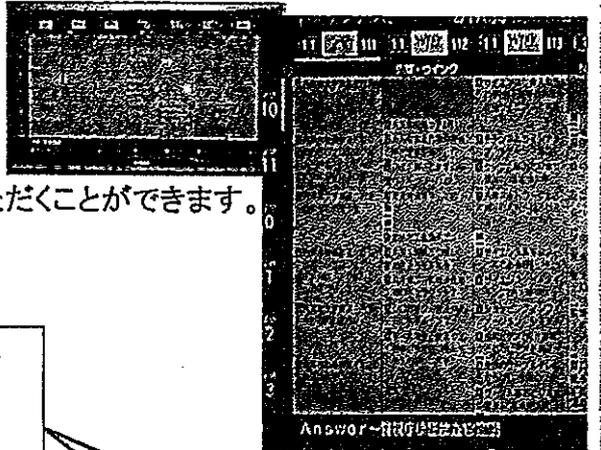
★番組表は、市のホームページ <http://www.city.shiso.lg.jp/> でお知らせしています。

またデジタルテレビリモコン
番組表ボタン



を押すと

ご覧いただくことができます。



★番組は、原則毎週木曜日 6 時に更新します。

◆しろうチャンネルをご覧になるには、ケーブルテレビ加入の手続きが必要です。

詳しくは・・・

宍粟市役所 秘書広報課 TEL 63-3115

または

(株) 姫路ケーブルテレビ TEL 0120-129-130 まで

基本利用料月額
540円/世帯
が必要です。

しそろチャンネル番組表				放送日：2017/5/18～5/24	
放送時間	番組内容		放送時間	番組内容	
6:00 00 15 30 45	文字放送	『市役所などからのお知らせ』 15分(45枚)×4周	15:00 00 15 30 45	文字放送	『市役所などからのお知らせ』 15分(45枚)×4周
7:00 00 15 30 45	しそろピックス	『平成29年度兵庫県消防初出式』 『第12回兵庫県さつもマラソン大会』	16:00 00 15 30 45	しそろピックス	『平成29年度兵庫県消防初出式』 『第12回兵庫県さつもマラソン大会』
	こんにちは県警です	『知って得する地域の安全』		こんにちは県警です	『知って得する地域の安全』
	サイエンスチャンネル	『私の未来カテゴリーサイエンスライター』		サイエンスチャンネル	『私の未来カテゴリーサイエンスライター』
8:00 00 05 15 30 45	兵庫県イベント情報	『5月後半のイベント』	17:00 00 05 15 30 45	兵庫県イベント情報	『5月後半のイベント』
	びだん手話講座	『自己紹介』『梅雨』『ほか』		びだん手話講座	『自己紹介』『梅雨』『ほか』
	しそろピックス	『第10回 森の国オカリナフェスティバル』		しそろピックス	『第10回 森の国オカリナフェスティバル』
	兵庫県PR動画	『兵庫に恋しそろ』		兵庫県PR動画	『兵庫に恋しそろ』
9:00 00 15 30 45	文字放送	『市役所などからのお知らせ』 15分(45枚)×4周	18:00 00 15 30 45	文字放送	『市役所などからのお知らせ』 15分(45枚)×4周
10:00 00 15 30 45	しそろピックス	『平成29年度兵庫県消防初出式』 『第12回兵庫県さつもマラソン大会』	19:00 00 15 30 45	しそろピックス	『平成29年度兵庫県消防初出式』 『第12回兵庫県さつもマラソン大会』
	こんにちは県警です	『知って得する地域の安全』		こんにちは県警です	『知って得する地域の安全』
	サイエンスチャンネル	『私の未来カテゴリーサイエンスライター』		サイエンスチャンネル	『私の未来カテゴリーサイエンスライター』
11:00 00 05 15 30 45	兵庫県イベント情報	『5月後半のイベント』	20:00 00 05 15 30 45	兵庫県イベント情報	『5月後半のイベント』
	びだん手話講座	『自己紹介』『梅雨』『ほか』		びだん手話講座	『自己紹介』『梅雨』『ほか』
	しそろピックス	『第10回 森の国オカリナフェスティバル』		しそろピックス	『第10回 森の国オカリナフェスティバル』
	兵庫県PR動画	『兵庫に恋しそろ』		兵庫県PR動画	『兵庫に恋しそろ』
12:00 00 15 30 45	文字放送	『市役所などからのお知らせ』 15分(45枚)×4周	21:00 00 15 30 45	文字放送	『市役所などからのお知らせ』 15分(45枚)×4周
13:00 00 15 30 45	しそろピックス	『平成29年度兵庫県消防初出式』 『第12回兵庫県さつもマラソン大会』	22:00 00 15 30 45	しそろピックス	『平成29年度兵庫県消防初出式』 『第12回兵庫県さつもマラソン大会』
	こんにちは県警です	『知って得する地域の安全』		こんにちは県警です	『知って得する地域の安全』
	サイエンスチャンネル	『私の未来カテゴリーサイエンスライター』		サイエンスチャンネル	『私の未来カテゴリーサイエンスライター』
14:00 00 05 15 30 45	兵庫県イベント情報	『5月後半のイベント』	23:00 00 05 15 30 45	兵庫県イベント情報	『5月後半のイベント』
	びだん手話講座	『自己紹介』『梅雨』『ほか』		びだん手話講座	『自己紹介』『梅雨』『ほか』
	しそろピックス	『第10回 森の国オカリナフェスティバル』		しそろピックス	『第10回 森の国オカリナフェスティバル』
	兵庫県PR動画	『兵庫に恋しそろ』		兵庫県PR動画	『兵庫に恋しそろ』

投稿ビデオ募集中!

◆番組・投稿等に関する問合せ

兵庫県役所 秘書広報課 TEL 63-3115

(夜間、土・日・祝日は TEL 63-3000)

地域のおまつりやイベント・伝統芸能、文化・スポーツ活動、学校行事などを撮影されたビデオをお寄せください。

※未編集のものは編集します。

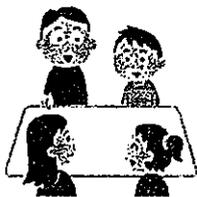
※営利目的、宗教性のあるものはご遠慮ください。

「わたしん家」の防災マップをつくろう

市が製作したハザードマップは、土砂災害警戒区域など、市内の危険箇所が一目でわかる地図になっています。
また、地元の自主防災会が製作した防災マップは、地域を限定してつくられているので、より身近でわかりやすいものになっています。
この2つのマップを活用して、家族がより安全に避難できるように、自分の家族専用の防災マップをつくってみましょう。

①避難の道順を決めよう

地域の防災マップを基にして、指定の避難所や最寄りの安全な場所までの避難経路を、家族みんなで話し合ってみましょう。



②実際に歩いてみよう

家族で決めた避難経路を実際に歩いてみましょう。
ふたのない水路や柵のない大きな段差など、避難経路にある危険箇所を記録しましょう。写真をとっておくとよりわかりやすい地図ができます。

③マップに色を付けてみよう

地図に避難経路を色付けして、見つけた危険箇所を目印をつけていきましょう。
危険だと感じた点を家族で話し合い、情報を共有するようになりましょう。



④もう一度確認しよう

できあがった防災マップを手にもう一度避難経路を歩いてみましょう。
季節や時間帯によって、あらたな危険箇所が見つかることがあります。「一度つくって終わり」ではなく、何度も歩いて、見直しをするようにしましょう。

しそうちャンネル

台風や大雨など、気象警報が発令され、災害に対して警戒が必要になった場合に、市内に設置している河川カメラの映像を放映しています。
また、6月から「しそうちャンネルデータ放送」が始まり、防災情報のほか、ゴミ出しカレンダーや暮らしに関する情報などを発信しています。

HD(高画質)放映&データ放送始めました!

○より美しい映像をお届け！「HD(高画質)放送」これまでのSD(標準画質)からHD(高画質)に変わり、より鮮明な映像を見ていただけます。

○テレビから地域の情報を入力「データ放送」リモコンの「dボタン」を押すと、データ放送のトップページが表示されます。「くらしの情報」「健康・医療」「安心・安全」「カレンダー」「ゴミ出し情報」の5つの項目から選んで、情報を入力できます。また、緊急情報がある場合は、わかりやすく点滅してお知らせします。



6月は土砂災害防止月間
豊かな村を災害から守る月間
みんなで防ごう土砂災害



これからの季節、台風や集中豪雨で河川の氾濫や崖崩れなどの災害が心配されます。被害を抑えるため、河川やため池、林地など危険な箇所を点検しておきましょう。

国土交通省 兵庫県 宍粟市
建設課 ☎63-3069

緊急情報があると、
ここが「赤色」に!

ますます充実中！

しそうちャンネル(ケーブルテレビ放送)

より便利に、より見やすく

「しそうちャンネル」が、より便利に、より見やすくなりまりました。ぜひ、加入いただき、テレビで身近な宍粟の話題をお楽しみください。

※「しそうちャンネル」は月額540円の視聴料が必要です。

こんな番組を放送しています

しそうちャンネルでは、市からの防災情報や行政情報、宍粟市議会中継のほか、音楽イベント、地域ふれあい行事、消防団操法大会など、市内の身近な話題を放送しています。また、各種団体からの取材依頼や、地域の祭りや季節の行事などの投稿ビデオを随時募集し、放送しています。



リモコンの「dボタン」を押すと、天気予報などのデータ放送も見ることができます

「HD(高画質) 放映」

大好評放送中！

しそうちャンネルの「HD(高画質) 放映」がスタートし、きれいな画質で楽しんでいただけるようになりました。

視聴者や番組に出演いただいた各種団体の皆さんにもたいへん好評です。また、ご感想やご要望もお待ちしております。

チェックしてください

「データ放送」

「今日の宍粟市北部と南部の天気予報はどうなってる？」「今日はゴミ出しの日だった？」「今日は何かイベントがあったかな？」こんな時はしそうちャンネルの「データ放送」をチェックしてください。リモコンの「dボタン」を押すと簡単に情報を入手することができます。

問合せ先 ●秘書広報課
☎63・3115

あなたも番組の主役！

取材や番組出演にご協力を！

しそうちャンネルの主役は市民の皆さんです。しそうちャンネルの番組は、できるだけ多くの市民の皆さんが出演し、また、多くの皆さんに番組を楽しんでいただけるよう、工夫して制作しています。

ぜひ、身近なイベントなどの様子を、視聴者の皆さんにお届けください。

光ケーブルについて

しそうちャンネルは、市の光ケーブル網を活用したサービスです。光ケーブルの新規引き込みや家の建て替えなどに伴う移設などを行う場合は、事前に担当までご相談ください。光ケーブルは破損しやすく、専門の業者による現地調査などが必要となります。光ケーブル断線の復旧費用は、起因者負担となりますので、近くで作業をする場合などは十分ご注意ください。

市民人権推進員が 地域の人権学習を支援します

問合せ先 ●人権推進課 ☎63・0840

宍粟市では、人権教育および人権啓発を推進することにより、基本的人権が尊重される差別のない明るい社会づくりをめざすことを目的として、「市民人権推進員」を設置しています。

各地区の市民人権推進員 (順不同)

- 山崎地区 松本むつみさん
- 三渡真由美さん
- 森隆 充さん
- 一宮地区 山本 博香さん
- 上木 靖彦さん
- 橋本 都子さん
- 川原 正文さん
- 波賀地区 菟場 幸子さん
- 上垣 博さん
- 千種地区 堀田 善巳さん
- 鳥羽五十鈴さん

推進員は、地域団体(自治会など)、各種団体(PTA、老人クラブ、女性団体など)および企業などで行われる研修会での講師やアドバイザーとして、皆さんの人権学習の支援を行っています。

また、個別で生活上の相談や人権に関わる相談なども行っていますので、最寄りの各地区の推進員にお気軽にお声かけください。



しろうチャンネル 部会検討イメージ

- | | | |
|-----|--------|-----------------------------|
| 第1回 | H29.12 | これまでの取組と課題等の確認、めざすべき方向性の共有 |
| 第2回 | H30.2 | めざすべき方向性に向け、製作スタッフとの意見交換 |
| 第3回 | H30.5 | 人事異動後新体制キックオフ、市民参加の取組等の企画会議 |
| 第4回 | H30.7 | 市民参加の取組等の実践 |
| 第5回 | H30.9 | 市民参加の取組等の実践 |
| 第6回 | H30.12 | 部会活動まとめ、全体会への報告 |

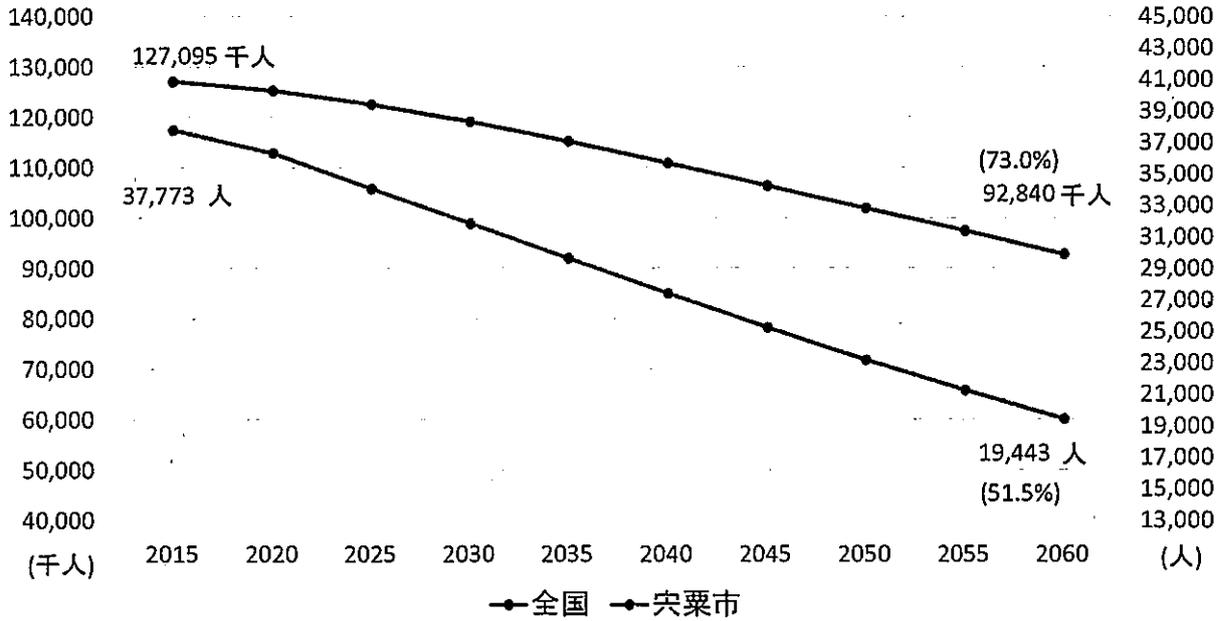


平成29年度広報広聴推進委員会（部会資料）

定住・移住に向けたシティープロモーション



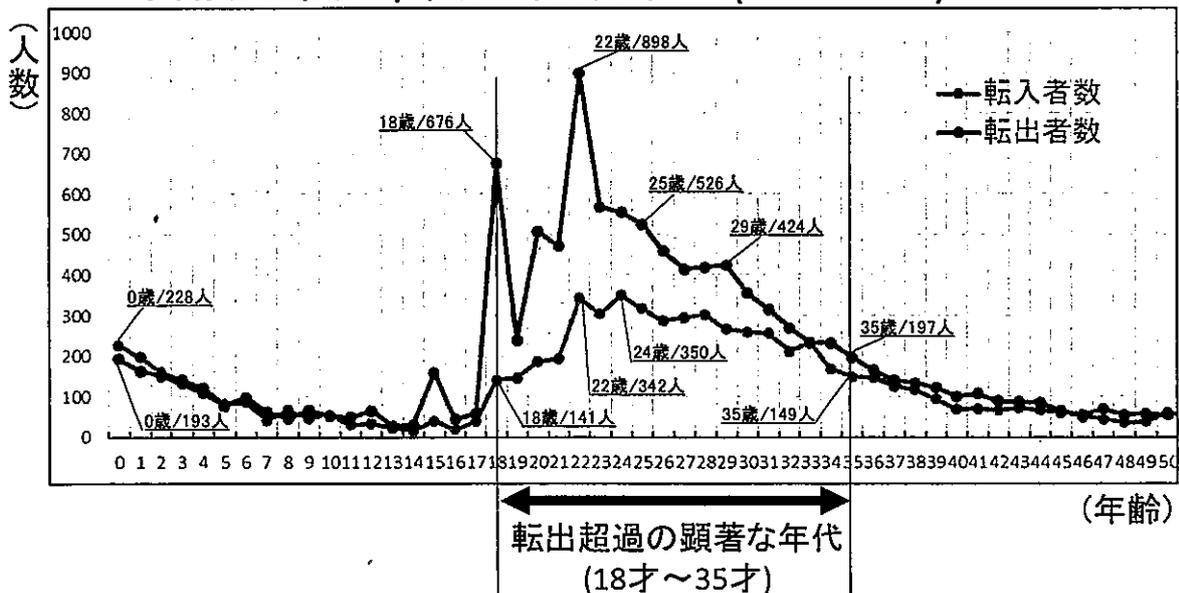
1 全国・宍粟の将来人口推計



出典: 国立社会保障人口問題研究所『日本の将来推計人口(平成29年推計)』
 宍粟市『人口ビジョン』

2 転入／転出の状況(年齢別分析)

■ 年齢別 転入/転出者数集計(H17-H27)



出典: 住民基本台帳

3 なぜ、転出が止まらないのか

アンケート結果から

- ・新婚家庭が入れる賃貸住宅が少ない。
- ・水道料金が安い。家賃が高い。土地代が高い。
- ・子どもが安心して遊べる公園がない。
- ・働きたい職場、せっかく大学を出ても自分を生かせる仕事がない。
- ・耳鼻科や小児科がないので、子どもの急病の時には不安を感じる。
- ・交通の便が悪い。運行ダイヤが不便で利用できない。
- ・家以外で勉強できる場所がない。習い事の選択肢が少ない。
- ・若者が遊んだり、ショッピングをする場所がない。
- ・消防や自治会の行事が多くて煩わしい。

4

4 人口減少をSTOPさせるための アクションプラン

I 森林から創まる住まい環境づくり

若者・子育て世代が住み続けたいくなる住まい環境づくり
と子育て環境づくり！

なりわい

II 森林から創まる彩と生業づくり

美しいふるさと穴栗の風景づくりと、地域で働き続けら
れる環境づくり！

III 森林から創まる生活圏の拠点づくり

みんなが集まりたいくなるような拠点づくり！

5

I 森林から創まる住まい環境づくり

豊かな森や美しい自然、農のある暮らしなど、『地域の強み』を活かして、通勤・通学の不便といった『弱み』をカバーし、若者・子育て世代の皆さまにとって魅力ある住環境・子育て環境をめざします。

■ 取組の例

- ✓ 若者・子育て世代の住宅取得に対する支援
- ✓ 空き家バンクの運営、移住体験ツアーの開催
- ✓ 子育て世代包括支援センターの開設
- ✓ 中学生以下の医療費無償化



しそう移住体験ツアー



子育て・定住HP「宍粟の森林の家族時間」

II 森林から創まる彩と生業づくり

先人より受け継いだ山や田畑川や街道や旧市街地などの地域資源を、豊かな森林と一続きの「風景」として捉え、それらを活用しながら地域の中で「生業」を創ると共に、「生業」が新たな「風景」を育んでいく環境をめざします。

■ 取組の例

- ✓ 地域でがんばる自治会、団体との協働
- ✓ 森林セラピーの推進
- ✓ 市内の工場や事務所、林業事業体への助成
- ✓ 音水湖をカヌー競技のメッカに
- ✓ 中心市街地活性化支援事業



音水湖での関西学生カヌー選手権誘致



森林セラピーの推進

Ⅲ 森林から創まる生活圏の拠点づくり

- ・ 市民局を中心とした公共交通のターミナルとして
 - ・ 多世代の交流の場として
 - ・ 小さな生業づくりや新たな人材の受け入れ拠点として
 - ・ いざという時の防災拠点として
- いろいろな機能を集積した「生活圏の拠点」と集落間のネットワークづくりをめざす。

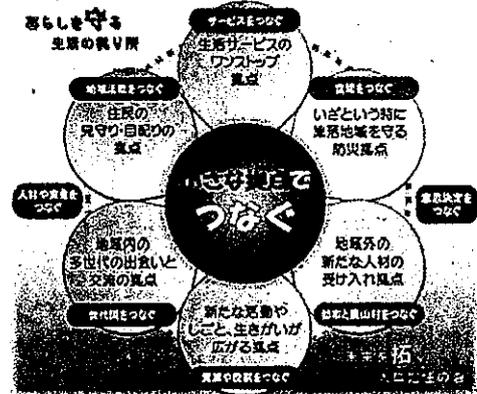
■ 取組の例

✓ 生活圏の拠点づくり事業

三つの市民局に、新たな地域づくり体制の拠点として再整備

✓ 地域公共交通対策事業

バス事業者と連携し、交通空白地の解消を図る



しろうし 宍粟市暮らし体験住宅 入居者募集中！！

～豊かな自然の中で田舎暮らしを体験してみませんか～

宍粟市では宍粟市一宮町三方町にある空き家を改修し、体験住宅として整備しています。

体験住宅周辺は田園風景が広がり、目の前を公文川くもんが流れ、住宅の裏には里山が広がっています。

また、近くには一宮温泉「まほろばの湯」、「家原遺跡公園」などの観光施設や市役所三方町出張所といった公共施設もあり、宍粟暮らしを体験していただくのに絶好の環境となっています。

ご興味のある方は、是非、お問い合わせください！



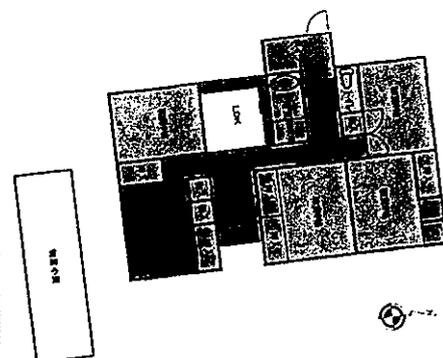
- ・ 賃貸期間中の利用方法は自由！！
※週末だけの利用も可能
- ・ 住まいと仕事探しの拠点として活用できます



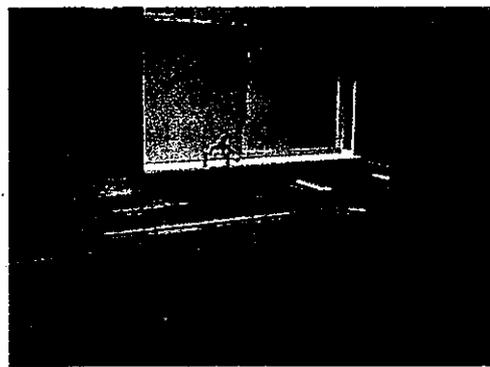
体験住宅周辺の風景



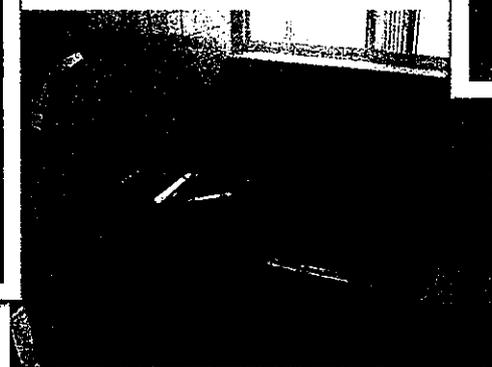
宍粟暮らし体験住宅（外観）



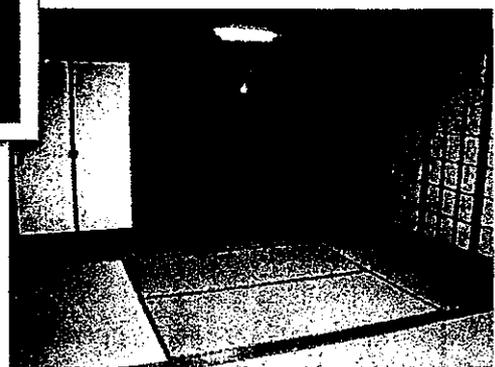
宍粟暮らし体験住宅（間取り）



宍粟暮らし体験住宅（台所）



宍粟暮らし体験住宅（風呂）



宍粟暮らし体験住宅（和室）

体験住宅の詳細は裏面へ↓

【体験住宅の概要】

●利用者要件

- ・ 宍粟市以外に居住されており宍粟市へ定住を希望する方
- ・ 体験住宅の利用規則を順守することができる方
- ・ 暴力団員等でない方

●費用負担

- ・ 賃貸料 30,000円/月（短期賃貸借契約による）
※賃貸料に光熱水費は含まれています
- ・ 食費や日用品等の消耗品などに係る費用

●住宅設備

エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、炊飯器、電子レンジ、ガスコンロ、食器類、調理器具 完備

※上記以外の設備は利用者の方で持込をお願いします
（寝具等も持込をお願いします）

●利用期間

- ・ 1か月から2か月
※原則、月単位での契約となります
※利用は週末のみの利用でも可能です

●お申し込み方法

下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

〒671-2593

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬 133-6

宍粟市役所企画総務部地域創生課

TEL：0790-63-3066

FAX：0790-63-3060

メール：teijusuishin-shitsu@city.shiso.lg.jp

皆様のご利用を
お待ちしております♪



移住を考えているけど「田舎で生活していけるか不安だ」「家探しに何度も足を運ぶのが大変」「仕事を見つけてからでないと移住できない」など移住に対する不安はありませんか？

お試し住宅を拠点に住まいと仕事探し、実際の生活を通して宍粟市の地域性を体験してあなたの不安を解消してみたいはいかがでしょうか？

是非、宍粟暮らし体験住宅をご利用ください！

空き家バンク登録集計表（H29.11.30時点）

物件登録件数（年度別）									
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
年度当初登録件数	0	12	5	6	8	24	32	44	/
新規登録数（A）	12	2	5	4	27	37	39	36	162
成約数（B）	0	1	0	0	7	22	21	14	65
抹消数（C）	0	8	4	2	4	7	6	6	37
年度末登録件数 ※H29時点登録件数	12	5	6	8	24	32	44	60	60

※空き家バンク登録物件は、登録日の翌年度末で抹消。継続には再登録が必要。

利用登録者数（年度別）									
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
年度当初登録者数	0	6	9	12	12	58	89	140	/
新規登録数（A）	6	8	12	11	60	89	94	97	377
成約数（B）	0	1	0	0	7	22	21	14	65
（内）市内利用者	0	0	0	0	3	8	10	6	27
（内）市外利用者	0	1	0	0	4	14	11	8	38
抹消数（C）	0	4	9	11	7	36	22	6	95
年度末登録者数 ※H29時点登録者数	6	9	12	12	58	89	140	217	217

※空き家バンク利用登録は、登録日の翌年度末で抹消。継続には再登録が必要。

H29年度 年代別成約状況一覧

年代	件数	世帯人数
20代	0	0
30代	1	1
40代	5	15
50代	2	7
60代	4	8
70代	1	1
80代以上	1	2
計	14	34

※年代は世帯代表者の年齢で集計

森林の家づくり応援事業申請状況(H29.11.30時点)

前住所		取得住所	件数	備考
山崎	⇒	山崎	40	
		一宮	0	
		波賀	0	
		千種	0	
小計			40	
一宮	⇒	山崎	4	
		一宮	7	
		波賀	0	
		千種	0	
小計			11	
波賀	⇒	山崎	0	
		一宮	0	
		波賀	1	
		千種	0	
小計			1	
千種	⇒	山崎	0	
		一宮	0	
		波賀	0	
		千種	3	
小計			3	
市外	⇒	山崎	5	
		一宮	0	
		波賀	0	
		千種	0	
小計			5	
不明	⇒	山崎	6	
		一宮	0	
		波賀	0	
		千種	0	
小計			6	
合計			66	



宍粟の
森林の家族時間

宍粟市は兵庫県の西、まわりを山に囲まれた「森林(もり)のまち」です。
豊かな自然と美しい風景、素朴で優しい人たちに囲まれて
家族みんながのびのびと暮らせる場所です。
ここで、最高の「家族時間」を見つけませんか。
ここは宍粟市への移住・定住や、子育てを応援する特設サイトです

新着情報 News

一覧を見る

現在、新着情報はございません。



スペシャルインタビュー



築100年の古民家カフェ「cafe遊山」の竹内さんご夫妻

城下町の面影を残す山崎中央通商店街。築100年の古民家で地元産の旬の食材を使ったお料理や、こだわりの珈琲を提供する「cafe遊山」のオーナー、竹内さんご夫妻にお話をうかがいました。

[〇 続きを見る](#)



自然の恵み 猟師の店「ていあーず」の安田さんご夫妻

趣味の狩猟をつうじて自然とより深く関わるために宍粟市へと移住し、今ではビジネスとして鹿肉の加工・流通に取り組まれている、「ていあーず」の安田さんご夫妻にお話を伺いました。

[〇 続きを見る](#)

築100年の古民家をDIYでリノベーション 森さんご夫婦

神戸市から移住し、築100年以上の古民家をリノベーションして充実の田舎暮らしLIFEを過ごされている森さんご夫婦にお話を伺いました。

[〇 続きを見る](#)

「森林の暮らし」

「宍粟市ってどんなところ？」

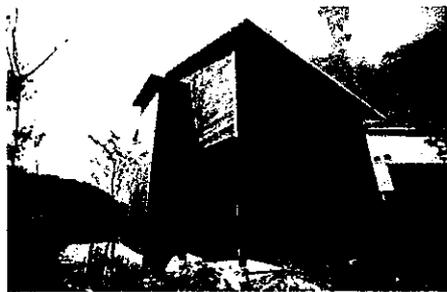
買い物や通勤・通勤に便利な市街地から、自然溢れる静かな山里まで、多彩な住環境を備えた宍粟市なら、きっと理想の暮らしが見つかります。



宍粟市はこんなところ

「宍粟市なら夢のマイホームが身近に！」

住宅の新築から空き家物件の紹介・リフォームまで、充実の支援制度で新しい暮らしを応援します。



40歳以下の方、子育て世代の方の住宅取得に最大120万円の支援

森林の家づくり応援事業(住宅取得支援)

空き家物件探しやリフォームにも充実の支援

宍粟市空き家バンク

森林の家づくり応援事業(空き家改修支援)

宍粟の森林の家族時間

- ▶ [森林の暮らし](#)
- ▶ [森林で子育て](#)
- ▶ [森林の休日](#)
- ▶ [森林のおすすめ](#)
- ▶ [アクセス](#)
- ▶ [新着一覧](#)

森林で子育て

子育ては自然の中でのびのびと！

子ども達にとって幼少期の自然体験は、豊かな心を育む宝もの。穴栗市では里山や水辺、森林や田園など身近な自然の中で、好奇心をくすぐるワクワク体験がもりだくさん！



妊娠・出産から子育てまで、ママと家族をばっちりサポート！

出産や子育てには様々な不安がつきもの。穴栗市では『子育て世代包括支援センター』が中心となり、様々な支援制度でママと家族をばっちりサポートします。



妊娠～出産～乳幼児期まで切れ目のないお手伝い

妊婦健診費助成
しもろすくスク応援券
ほっとmamaルーム
子育て支援センター
ファミリーサポートセンター

穴栗の森林の家族時間

- ▶ [森林の暮らし](#)
- ▶ [森林で子育て](#)
- ▶ [森林の休日](#)
- ▶ [森林のおすすめ](#)
- ▶ [アクセス](#)
- ▶ [新着一覧](#)

森林の休日

大自然のテーマパーク穴栗森林王国！

家の近くには小川や田んぼ、夏には川遊びやキャンプ、冬はウィンタースポーツ、まさに「森林王国」の穴栗市は遊びの宝庫です。



バーベキューにキャンプ、楽しいアウトドアスポットが沢山！

自然に囲まれた穴栗市には、お手軽なバーベキューサイトから本格的な山のキャンプ場まで、楽しいアウトドアスポットが沢山。お子さんの年齢や家族の体力に合わせて、様々なスタイル

穴栗の森林の家族時間

- ▶ [森林の暮らし](#)
- ▶ [森林で子育て](#)
- ▶ [森林の休日](#)
- ▶ [森林のおすすめ](#)
- ▶ [アクセス](#)
- ▶ [新着一覧](#)

【森林のおすすめ】

豊かな里山の恵みや、伝統ある食文化の根付く宍粟市には、知る人ぞ知るグルメスポットがあります。そんな宍粟の美味しいお店をご紹介します。



築100年の古民家で味わう絶品パスタランチ
cafe 遊山

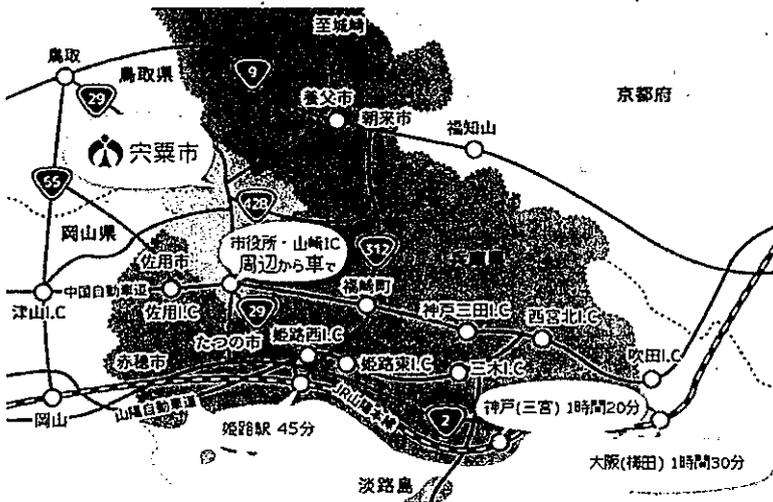


蔵元の町家cafeで味わう極上スイーツ
町家cafe&ギャラリー さんしょう

宍粟の森林の家族時間

- ▶ [森林の暮らし](#)
- ▶ [森林で子育て](#)
- ▶ [森林の休日](#)
- ▶ [森林のおすすめ](#)
- ▶ [アクセス](#)
- ▶ [新着一覧](#)

【アクセス】



【注】表示の所要時間は一部有料道路等を利用した場合の最短時間のめやすです。実際の移動時間は道路状況等により異なります。

宍粟の森林の家族時間

- ▶ [森林の暮らし](#)
- ▶ [森林で子育て](#)
- ▶ [森林の休日](#)
- ▶ [森林のおすすめ](#)
- ▶ [アクセス](#)
- ▶ [新着一覧](#)

C部会：定住・移住に向けたシティープロモーション部会検討スケジュール（案）

第1回	2017.12	合同	昨年、今年度の取組みの確認と課題の掘り起こし
第2回	2018.2	単独	子育てポータルサイト等の運用、検証（継続的）
第3回	2018.5	合同	市内外への情報発信方法の検証
第4回	2018.7	単独	穴粟で取り組むべき事業の整理（第1回）
第5回	2018.9	合同	穴粟で取り組むべき事業の整理（第2回）
第6回	2018.11	単独	部会としてのまとめ、報告
第7回	2018.12	全体会議	各部の報告会（最終）



住まい

- ✓ **空き家バンク**
市内の空き家情報満載！
新たな生活をスタートさせるために最も重要な住宅探しをしっかりサポート！

- ✓ **宍粟の暮らしを体験**
宍粟の暮らしを体験できる住宅が3万円/月で利用可能。
- ✓ **住宅の取得を支援（森林の家づくり応援）**
宍粟市に転入又は転居される40歳以下の方又は中学生以下の子どもがいる世帯の方に住宅取得の費用を最大120万円支援。
- ✓ **空き家の改修費を支援**
市内の空き家を利活用する場合、改修費用を最大50万円支援。
- ✓ **住宅分譲地を販売（宝谷地区分譲地）**
移住・定住希望者向けに市が造成した市有地を、住宅分譲地として分譲販売。
分譲価格 282.8万円～
面積 344.29㎡～
- ✓ **子育て世代の分譲地購入を支援（宝谷地区分譲地）**
18歳未満の子どもを育てている方が、分譲地を購入する場合、最大50万円支援。
- ✓ **再生可能エネルギーの普及を促進**
太陽光発電、薪ストーブ、ペレットストーブ、木質バイオマスボイラーなど購入・設置費の一部を支援。
- ✓ **簡易耐震診断の費用を助成**
昭和56年5月以前に建てられた住宅の耐震診断費用の9割を支援。
- ✓ **住宅の耐震改修を支援**
耐震性が低いと判断された住宅の耐震改修工事費の一部を支援。

生活

- ✓ **定住協力員**
地域ごとに定住協力員を配置。
困ったときに地域のことを相談しやすい環境。
- ✓ **安くて便利！公共交通**
安くて便利な路線バス！市内あちこち走る路線バスは片道200円で乗車出来ます。
- ✓ **通勤・通学費の一部を支援**
市外へ通勤、通学される方へ最大2万円/月を支援。
- ✓ **農業がより身近に！**
空き家とセットで農地を取得する場合、100㎡から農地取得が可能。農ある暮らしがより身近に！
- ✓ **光ケーブルネットワークを整備**
市内全域に1Gの光ケーブルネットワークを整備。自宅の外までの光ケーブルの引き込みは市で行います。
- ✓ **市のお知らせが確実に伝わる環境（レーたん通信）**
光ケーブルネットワークを利用し、各家庭へ市からのお知らせを伝えるシステムを整備。
防災情報も迅速に知ることができるので安心。

仕事

- ✓ **起業家の方を支援**
市内で新たに起業する方に起業に要する費用の一部を支援。
・店舗等の改装費、設備購入など 最大300万円
・賃借料 最大5万円/月
・新規雇用1人あたり 30万円
・販路開拓費用 最大30万円
- ✓ **創業をサポート**
市役所内に創業に関するさまざまな相談ができるワンストップ窓口を設置。また、創業塾を開講し、創業を考える方をサポート。
- ✓ **IT関連事業者を支援**
市内の空き家、空き店舗を利用して、IT関連事業所を開設する場合の費用の一部を支援
- ✓ **新規就農を支援**
新規就農者の営農継続に要する費用を3年間、各年最大100万円まで全額を助成。
- ✓ **無料職業紹介**
市役所内に無料職業紹介所を設置し、市内及び近隣市町の職業紹介により企業とのマッチングを支援。

妊娠・出産・子育て

- ✓ **子どもの医療費無料**
中学生以下の医療費自己負担額を無料化。保護者の所得制限もないので、安心して医療を受けられます。
- ✓ **妊婦健康診査費を助成**
妊婦健診の費用に対し14回以内で最大9万3千円まで支援。
- ✓ **しそうスクスク応援券**
妊婦歯科健診を助成。
妊娠中の歯科健診を助成。
新生児聴覚検査を助成。
新生児期に受けた聴覚検査を助成。
- ✓ **乳房ケア利用券**
授乳や乳房トラブルについてケアや授乳指導等を受けた費用を助成。
- ✓ **産後1か月健康診査費を助成**
産後1か月健診に係る費用を助成。 最大5千円
- ✓ **1か月児健康診査費を助成**
1か月児健診に係る費用を助成。 最大3千円
- ✓ **特定不妊治療費を助成**
- ✓ **不育症治療費を助成**
- ✓ **子育て世代包括支援センター**
母子保健コーディネーターをはじめとするスタッフが、妊娠期から子育ての相談、支援、健診等を切れ目なくサポート。
- ✓ **ほっとmamaルーム**
妊婦さんから生後4か月までの赤ちゃんの部屋。保健師と子育て支援員が相談に応じます。
- ✓ **子育て支援センター**
市内4か所にある子育て支援センターでは、子育て支援員により子育てをしっかりとサポート。親子で参加できる様々なイベントを開催。
- ✓ **ファミリーサポートセンター**
子育て中の方が仕事や急な用事などで子どもの世話ができないときに、地域の人が応援する会員制の子育て支援ネットワーク。

教育

- ✓ **ふるさとしそう探検隊**
市内小学校では、地域の特性や人びとの暮らしについての学びを深め郷土への誇りや愛着を育みます。
- ✓ **学童保育所**
市内12か所にある学童保育所
授業の終わった放課後に、昼間保護者が家庭にいない小学生を対象に適切な遊びや生活の場を提供。
- ✓ **保育料を軽減**
多子世帯などに対して市独自の保育料軽減措置を行っています。
- ✓ **延長保育**
市内10園の保育所・こども園では、通常の保育時間を延長して保育する延長保育を行っています。
- ✓ **一時預かり**
保護者の急な用事や病気などにより一時的に家庭での保育が困難になった場合、市内7園で一時預かりを行っています。
- ✓ **こだわりの給食**
地産地消率約70%のこだわりの学校給食を提供。

自然

- ✓ **森林セラピー**
県下初、森林セラピー基地認定地。
森林セラピーとは、心と身体を癒す効果が科学的に認められた森林浴効果のこと。市内2か所に森林セラピーロードを整備。
- ✓ **宍粟50名山**
氷ノ山をはじめとするしそう森林王国選りすぐりの50の山々。宍粟50名山完全踏破に挑戦しませんか。
- ✓ **カヌーなど**
市北部にある音水湖では、カヌーやスタンドアップパドルサーフィン（SUP）が体験できる。
また、シャワークライミングなど豊かな自然を活かしたレジャーが充実しているのも宍粟の魅力。

お気軽にお問い合わせ
ください♪



お問い合わせ《移住・定住総合相談窓口》 宍粟市 企画総務部地域創生課 定住推進室
TEL：0790-63-3066 FAX：0790-63-3060 Email：teijusuishin-shitsu@city.shiso.lg.jp
※支援制度の詳細は事前にお問い合わせください

平成29年度広報広聴推進委員会（部会資料）

市民意見の聴取（広聴事業）の仕組みづくり



栄栗市広報広聴事業一覧(平成29年11月末現在)

区分	事業名	取組み内容	現状(平成29年11月末現在)	平成28年実績(参考)	備考
広聴活動	陳情・要望	自治会、団体から自治会内の意見、団体内の意見を集約し、要望書として提出する。	65件	110件	
	来庁相談・投書	市長室・各窓口に来庁し、市長や職員が意見を伺う。また、各庁舎に投書箱を設置しており、来庁者が投書による意見を提出する。	数値の把握は出来ていない。	数値の把握が出来ていない。	
	HP問合せ	市のホームページを利用して、市の事業内容の問い合わせや意見を提出する。	平成29年11月末現在405件の問い合わせ等あり	数値の把握が出来ていない	
	タウンミーティング(行政懇談会)	地域創生に向けた市の取組み等を説明し、その取組みを含めた未来に向けた意見・提言いただく。	学校区ごとの地区別ミーティング7箇所とテーマ別ミーティング9箇所で開催	地区別ミーティング(実施箇所)7箇所(参加者)320名	
	ふれあいトーク(地域づくり懇談会)	10人以上で団体申込みいただいた場合に、市長が指定の場所に出向き、団体が希望されるテーマで意見交換を行う。	(実施回数)5回(参加者)126名	(実施回数)20回(参加者)246名	
	ふれあいミーティング	市の事業内容の説明を求めたり、研修会の講師等に、職員を派遣し、その場で、市民の方との意見交換を行う。	(実施回数)26回(参加者)672名	(実施回数)26回(参加者)720名	
	市民提案制度	市民の方から、より良いまちづくりや地域の課題解決に繋がる提案をしていただける制度	(提案数)2件	(提案数)1件	
	パブリックコメント	総合計画などの重要な計画や条例制定等を行う場合に、概要版等ができた段階で市民の意見を聴き、反映する制度	(件数)0件(意見)0件	(件数)3件(意見)0件	
	市政モニター	市民意見を反映しやすい環境をつくるため、必要な時に意見を貰える市民を事前に登録する制度	実施方法等調整が必要か。	現在、実施していない。	
	市民アンケート	毎年、市からの情報発信方法について検証するため、500人を抽出しアンケートを行っている。	平成30年1月に実施予定	(アンケート依頼数)571人(回答数)226人	
ふるさと市民制度	市外在住の方を対象に、市からの情報提供(広報等の配布)を行う代わりに、市外の方から見た意見や提言を貰う。アンケートにも協力頂く。	332人	277人		

■平成29年度タウンミーティング参加者数 会場別・男女別集計表

No	日時	会場	対象	男性	女性	計	備考
1	10月15日	市民センター波賀	若者	6	0	6	
2	10月15日	センターちくさ	若者	6	0	6	
3	10月17日	山崎子育て支援センター	子育て世代	0	24	24	
4	10月18日	宍粟防災センター	山西中校区	21	3	24	
5	10月19日	センターちくさ	千種中校区	42	3	45	
6	10月20日	市民センター波賀	波賀中校区	27	8	35	
7	10月22日	宍粟市役所	若者	—	—	0	延期
8	10月22日	センターいちのみや	若者	—	—	0	延期
9	10月23日	センター三方	一北中校区	54	1	55	
10	10月27日	山崎東中学校体育館	山東中校区	26	1	27	
11	10月30日	城下ふれあいセンター	山南中校区	43	4	47	
12	11月1日	センターいちのみや	一南中校区	100	2	102	
13	11月10日	一宮子育て支援センター	子育て世代	0	10	10	
	11月14日	センターいちのみや	若者	7	1	8	延期分
14	11月15日	千種子育て支援センター	子育て世代	0	4	4	
15	11月16日	波賀子育て支援センター	子育て世代	0	9	9	
	11月17日	宍粟市役所	若者	4	0	4	延期分
16	12月10日	宍粟市役所	子育て世代			0	
合計				336	70	406	

■種類別集計

区分	男	女	計	備考
地域別	313	22	335	
若者	23	1	24	
子育て	0	47	47	
合計	336	70	406	

タウンミーティングアンケート集計結果

【会場別参加者数】

開催日	場所	参加者数	うちアンケート回答者数
10月 6日 (木)	センターちくさ	48名 (7名)	37名
10月11日 (火)	センター三方	51名 (3名)	37名
10月13日 (木)	宍粟防災センター	37名 (4名)	27名
10月17日 (月)	城下小学校	33名 (5名)	27名
10月21日 (金)	山崎東中学校	16名 (0名)	11名
10月26日 (水)	センターいちのみや	100名 (5名)	71名
11月 7日 (月)	市民センター波賀	35名 (1名)	26名
合計		320名 (25名)	236名

※ () は女性の数

【性別 (問1)】

男性	女性
94.9%	5.1%

【年齢 (問2)】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代~
0%	0.4%	0.4%	9.7%	22.0%	55.9%	10.6%	0.8%	0%

【住所 (問3)】

山崎町	一宮町	波賀町	千種町	市外
27.5%	45.3%	11.9%	14.8%	0.4%

【関心があるテーマ (問4)】

テーマ区分	割合
定住・移住の支援	18.3%
雇用の場の確保・若者の就職支援	44.6%
地域の賑わいづくり	15.5%
結婚・出産・子育て支援	12.9%
観光地への誘客促進	7.0%
その他 (※)	1.8%

※その他意見

農林業での雇用の場の確保 農業の耕作放棄地の問題 10~20年後のあるべき姿 (市民心を一つに夢・希望・目標を明確に) 障がいのある人も住みやすくなるまち 自治会内の市道の整備 空き家への勧誘と補助 防災、交通

【自分が住んでいる地域に必要なと思う場所（問5）】

必要だと思う場所	割合
市民交流の場	23.0%
生涯学習の場	8.7%
保健・福祉の場	28.3%
子育て支援の場	20.7%
図書館	1.2%
行政の窓口	10.2%
その他（※）	7.9%

※その他意見

就業の場 企業 病院 住居・若者の住むワンルームのアパート 豊かな自然 市外住民との交流の場 子どもの遊び場 コンビニ 道路 店（食料品） 電車 避難場所

【提案・提言（問6）】

《定住・移住関係》

- 空き家バンク紹介の際、真剣さを見極めてもらいたい。遊び心で登録している人もいる。
- 若者の居住・就労支援のための住宅の整備・補助制度
- 少子高齢化が進むので、他地域から定住・移住の関心が持ってもらえるような地域をつくり、アピールにもっと力が入れるように皆が協力して頑張れるような目に見える組織作りが必要だと思う。
- 土地提供や無税化
- 市内全域で定住は経費的にも困難であり、生活圏の拠点づくりは良い着目点である。公共インフラ整備をして人を集め定住促進を。
- 空き家への移住促進は隣保の和を乱されている。
- 土地を無償にして、市外からの移住を促す。

《医療・介護関係》

- 三方・繁盛。下三方で病院が現在2軒で12月より1軒になり大変不安に思っている。
- 老人ホームが現在順番待ちの状態らしいので何とか公立の老人ホームはできないか。
- 医療・介護施設の充実
- 高齢者介護施設シティを創造してはどうか。
- 世話人ボランティアを至急増やし、元気な高齢者を増やす。
- 穴栗総合病院の充実を。市民病院と思っているが、紹介状がないと値段が高い。
- 総合病院の医師の確保が必要。

《結婚・子育て関係》

- 子どもを生む世代の増加を図る施策が必要である。
- 独身者に対する結婚・相談等の拡大を図ることも必要である。
- 母親が子育てしたい町をつくるために、文化活動への支援等、文化面での市の振興を進めてはどうか。
- 学童保育について、小学6年生までの受け入れにしてもらいたい。先生、施設の都合で断られることがあるので。共働きでも安心して子育てできる環境をお願いしたい。

《産業振興関係》

- 市内に仕事をつくること、工場を建てること
- 産業と仕事を増やせば、その他のことは全て後からついて来ると思われる。
- 人口減少に歯止めをかけるため就業の場を作る施策を広く発信して市外からの企業を誘致してほしい。
- 高校・大学卒業後の就職先、住居等を充実させ、我が地域の優秀な子ども達の流出を防いでほしい。
- IT 関連の会社等の設立誘致を支援することはできないだろうか。
- 若者の職場の確保が定住等全ての基礎になる。企業が宍粟に来るような特典を考え実施する。
- 若者の定住を図るためには新規事業の起業又は企業誘致を早急に行う必要がある。
- 起業できる環境整備
- 宍粟市は産業の停滞が問題だと思います。企業誘致も大切だが、既存の商工業者の活性化が緊急の課題と考えます。
- 企業の誘致をして、一生、この会社で暮らせるようにする。
- 企業誘致を第1に考えてもらい、人口減少に歯止めを行う。
- 65才以上の地元への就労の場と費用の支援
- 契約社員の削減
- 優秀な人材育成を行うことで、宍粟には仕事のできる人材が多くいることも企業誘致の好条件になるのではないか。
- 鉄道の誘致
- 工業団地の造成
- 雇用の確保のため、一般論では工業団地を作って企業誘致となるが、どの市町でもやっていること。宍粟市は森林を強みとするなら森林企業（材料から製品まで）に特化して特別優遇策を作り、他市町に先駆け企業誘致を行う。

《農林漁業関係》

- 林業の後継者育成も必要だが、農業も補助制度充実を。
- 自分の子が農林業をするようになるのは、どんな条件かそういう視点で皆で考えていきたい。
- 個々の農業従事者をいかにまとめて生活できるか維持できる施策を。
- 市に農林公社のような部署を作ってもらい、農業専門の人たちを雇用する制度を作ってもらい、千種の荒れた土地を守っていつてもらいたいと思います。
- サル対策の補助要綱を作ってもらいたい。
- 1. 鹿・猪の対策 2. 農業の後継者の問題 3. 耕作放棄地の拡大の問題
- 熊・猪・鹿等が里に出没している回数が増えている。以前に比べて頭数が増えているのではないか。対応を強化すべきでは。
- 鹿対策のための防護ネット（捕獲が目的ではない）に鹿が引っ掛かった場合は全て役場の方で処理してほしい。現在は有料であることに納得できない。
- 千種川に魚が少なくなっているのが原因の調査をお願いしたい。
- 宍粟市は9割が森林であり、杉・ヒノキが植林されたせいかな手入れが行き届かなくなっている。山の頂上で伸び、山自体が高くなり平地で田、畑を作っている土地の日照時間が短くなってきている。特に千種は、杉の生長が気になり作物が生産しにくくなり希望も夢も膨らまない。広葉樹を植えて山の豊かさが元に戻れば人の流れが戻ってくる。宍粟の子供たちも幼い頃から山に親しむことが大事であると思う。
- 林業特区にできないか。20年計画で宍粟市全体間伐事業300人の仕事が確保できる。鹿対策にもなる。
- 農業振興について、井堰の土砂除去により農業用水の確保をお願いしたい。

- 森林・木材に関することなら宍粟市に勝てないと言われる程、産業、知識集積を目指すべきである。総花的になることが一番のリスクであると考える。
- 森から創まる地域創生の取組の中で、森林整備について、防災・雇用も考えながら積極的に行ってほしい。
- 農林業において、地域ブランドを作り、産物の6次産業化を行う。
- 宍粟の農産物のPRとともに、清酒のPRも行い、全国区となるよう努めていただきたい。
- 農業の継続振興と農地の管理継続体制の確立のため農業事業体の育成を。
- 森林（林業）と農地（農業）に特化した施策を進めてほしい。あれもこれもは無理なので宍粟の特色を出したまちを創ってほしい。
- 農道等の草刈作業中の石はねなどの安全のため、作業している者は他の者が聞き取りにくくなっているのに、車や学生などの通行人が通過の場合、合図をどうするか。
- 木材にブランドや付加価値が必要ではないか。
- 森林事業については、一部だけ潤うのでは駄目である。
- 戦後70年、植えて続けて気が付けば周りの山頂まで杉、桧、松が大きくなり収穫、売却の時期となるが、木材を切り出すにも作業道、林道が整備されていない。このままだと価値の無い山が残るので森林の維持・管理は元より、未来の山の見直しと新たな創生作りを検討してほしい。熊が里に近づいてくるのも山に食べ物が無くなっているためだ。
- 農業特区と農業振興策（様々な農産物の中から地域に合った特色あるものを選定し小規模多数又は大規模での取組）
- 小規模団地での間伐支援に期待

《観光関係》

- 以前、国の戦略で「観光立国」を掲げ、宍粟市においても「観光基本計画」を建て、条例化し観光による交流人口増加を狙う中で、拠点となる「観光ステーション」の建設はどうなったのか。
- 高校の山岳部の大会を三室山に呼ぶ。
- 道の駅に立ち寄りたいたいと思っている。契約期間を短縮せずに再開してほしい。スキー客を取り込み、1年を通じて賑わいのある千種であってほしい。
- 一宮北部の拠点づくりとしては、まほろばの湯、家原遺跡が中心になると思うが、看板がない、あっても見えない。まほろばの湯と家原と図書館との連携プレーができてない。至急新しい看板の作成、案内看板の設置をお願いしたい。
- 未来の宍粟のために観光立市に積極的に力を。
- 桜の名所をつくる。
- 国見の森公園をもっと充実した施設にしてほしい。「比地の滝」という素晴らしい名勝を開発すべきではないだろうか。最近国見を訪れたところ公園内やその周辺が清掃されていなかった。また、比地の滝登り口が凸凹で徒歩で歩くのは無理でした。
- 先進地をしっかりと視察して森や自然を利用したアクティビティの開発をする。（オートキャンプ場、ツリークライミング、シャワークライミング、森林セラピー、川の駅、ログハウス作り）
- 各地域イベントのブランド化への支援
- 年間を通じて、人を呼べるような、例えば淡路にある花やしきや鳥取の花回廊みたいなものを検討してみようか。
- 一宮ふるさと祭りを宍粟ふるさと祭りに。
- 携帯の通じない観光地の解消

●市北部は国有林が多く、森林セラピー事業はマッチしていると思う。国有林を管轄する森林管理署は市の取組に理解を示しているのか。これからの美しい時季に通行止めと聞きます。

●カヌーまつりについて、地域、地元も参加できるように見直しをしたらどうか。また、駐車場の整備だけでなく、地元にある市有地を有効活用していただいて地域に雇用が生まれるようにしてほしい。

《公共交通関係》

●若者が神戸・大阪まで通勤できる対策が必要である。

●山崎 IC - 福崎 IC - 花田 IC - 御着駅 - 姫路駅のルートの直行バスの実現を。中学生・高校生の意見も聞いて実現するまで県議会・国会議員に働きかけます。

●公共交通の根本から見直しをしてほしい。

《公共施設関係》

●一宮北小中学校用の運動場、体育館の新設、とりわけ体育館の新設を希望。

●市民局、センターいちのみやの改築の時期に来ている。

●行政、市民局が土日等にも利用できるように。

●公営施設の誘致

●各市民局に提案・提言箱を置いてほしい。

《道路整備関係》

●養父市、朝来市へのアクセス（産業圏）を計画する。

●志引峠のトンネル化、黒原のトンネル（長期計画）

●姫路・たつのと繋ぐ高速道路を作っていただきたい。

●下河野と大沢にトンネルを作る。

●岡山方面との道路網やトンネル等でとどの詰まりという状況の解消をして他市との交流を図る。

●一宮北小中学校前の道路を拡幅していただけると聞いていて有難い。これと合わせすぐそばの前川橋の拡幅もお願いしたい。

●市内に住みながら、市外に通勤できるよう高速道路を活用する。補助を出して安く通勤ができるようにする。

●仕事は姫路でも、居住は宍粟となるように国道 29 号の高規格化、県道たつの山崎線の改良を。

●国道 29 号線をバイパス化する。集中的な雨や台風などで国道の利用ができなくなる。

●神戸地区に国道 29 号線のバイパスを検討する。

●国道 29 号線とは別のバイパスの建設。

●姫路へ通勤するのに、バイパス等を整備し、時間的短縮を図り通勤しやすいようにする。

●南北・東西へのアクセスをスムーズに行けるように。

●姫路、神河町～加西、小野方面の通勤時間短縮のため道路整備をお願いしたい。

●現在 3 箇所程の市道整備を要望しているところであるがなかなか実現しない。救急車が通行不能の所もある。また市道川西線の完成予定も大幅に遅れている。業者の問題もあるということを知っているが早期完成を要望する。

《スポーツ関係》

- 健康とスポーツを推進する者としてしーたん放送でラジオ体操が放送されていますが第1で終わっているのが第2体操とセットでお願いしたい。
- 老人の楽しみとして、グラウンドゴルフをしているが、雨天でもプレーできる施設の要望が最近特に目立ちます。学遊館にある施設では大会等は不可能ですのでできればグラウンドまで広げていただきたい。
- 川の土手等を有効活用して健康づくりのための散歩道、ランニングコースの設置
- 高齢者のスポーツ施設の無料化は有難い。プール利用させてもらっている。
- メイプルスタジアムの活用拡大について、中高大学等も含め、学生の滞在使用をしてもらい、交流、賑わいを求める。滞在については、道谷、野原、引原等の旧施設を安価で提供。食事、手伝い、指導は地域の有志の応援、食材は地元産を提供するなど、安価ながらも地域が元気になるのではないかな。

《その他》

- 旧千種北小学校跡地の活用はどうするのか。
- 旧千種北小学校の道路側の植木の剪定を見える部分だけ数年に一度でもよいので行ってほしい。
- 未来のために短期・中期的な展望と具体的な方策が望まれる。
短期：子育て福祉など今優先的に求められる施策
長期：宍粟各地域の資源を活かす取組・施策
農商工林の維持並びに充実、観光・文化の振興
- 地域を想う方の意見が聞けてこのように考えていく場をもっと増やすべき。もっとたくさんの方が参加されるよう願います。
- 補助金がないと何もできないように言っているが大きな間違いであり周囲の責任にせずまず自分がやるのが大切である。
- 本日は表面的なさわりの部分のみプレゼンいただいたと思う。もっと深い基本的な検討の部分、分析のところを教えてほしい。理解が進めばより多くの提案が生まれる。もっと多くの人を巻き込み市民全体の動きにしなければ前に進まない。
- 先日、しーたん放送できて一な宍粟のPRで女性の方が「宍粟市には、揖保川があり」と紹介されただけで、千種川が出てこなかった。市として、千種川もPR願いたい。
- 担当課別の縦割行政ではなく各課連携し情報共有し市民の意見に対応できる行政をしてほしい。
- 身近な近隣の人々が寄り添って生活を互いに助け合う中で、IT・専門家が、近隣（5～10世帯）の自立的日常活動単位としてサポート・バックアップできるような仕組みづくりを。
- 議員数や報酬を減らしたり、再雇用で市職員や教員を採用せず、若い人を雇い、新しい宍粟作りの人材育成をしてほしい。
- 地域には色々な知識を持った方がたくさんおられますが、個々ではなく団体として活動の場や交流の場を広げられるようなコーディネーターのような存在の育成ができれば良いと思う。
- 今後も山崎活性化事業にご協力よろしくお願いします。
- 若者が勉学に県外に出ているので、大学をつくってはどうか。
- 学費ゼロ化、又は支援
- 人が寄りやすい場の確保
- 自治会内で楽しく交流できる共通の目標が必要。例えば、スポーツ、果樹・野菜作り、遊びのできる地区の数箇所の広場等

- 教育・文化・福祉に力を入れていくべきである。特に教育では、農林業の活性化につながる教育やふるさとに愛着を持てる教育を行う。
- 給食費や保育料等の無償化を実施してほしい。
- 都市計画税の廃止・見直しをお願いしたい。
- 第2のダムの強化のため、山崎、城下の土地の用途変更だけでなく、都市計画そのものの廃止も検討すべきである。
- もみじ山、国見の森公園、50名山、森林セラピー、森林鉄道など色々やればいいというより、中心とする事業を決め10年20年の展望を立て継続していくことが重要と思う。
- 県立ではあるが、高等学校教育（スポーツ活動含む）を充実させ、市外からの生徒誘致を促進し活力ある町の賑わいをつくりだしてはどうか。保護者も移住する可能性もある。
- 市主催の市民参加行事が少ない。
- 住民の意見をよく聞き、意見を言える風土を作る町づくり
- 転出者の中で大学卒が大きく影響している。地域に役立つ人材育成が必要であり、小さいころから教育育成する必要がある。
- 短期間で計画案の実施できるように。
- 個人負担が減るシステムを。
- 自衛隊などのアメリカ軍の場を受け入れる。
- 子育て支援や福祉よりももっと大切なことがあると思う。未来よりも今を生きることが大切に思う。
- 若者でいろんな特技・能力ある人を育てる。クラフト・芸術・文化・スポーツ等
- 中高一貫私立学校の誘致・廃校利用
- 高齢者が今後増える中、高齢者の健康増進、生活支援、活動の場作り等高齢者対策をさらに充実してもらいたい。
- 少子高齢化が進む中、核家族で近隣との人間関係の薄くなりつつあり、生活の向上や社会が便利になる反面、お互いが声掛けし合い、励まし合う心のゆとりがなくなっている。自分達の住んでいる地域にもっと関心、つながりを自分らしく持って受け身ではなく、自発能動の生き方を求めたい。
- なぜ森林から創まるなのかわからない。
- 各自治会が元気になることが大事であると思う。
- 市内あちこちで昔の標語、標識看板等残っていないか。景観をよくするために。
- 買い物のできる環境の維持。
- 戦略的な情報発信
- ソフト事業について、他の町とは違う「住みよい町」にするための取組が必要。（地域づくりへの参加、起業、生きがいやりの感じられるライフ）あとは、高校生のトライやるを行いPRを。

平成28年度 しそふれあいミーティング実施一覧

受付 番号	受付日	実施日	時間	申請団体名	内容	場所	参加者数(人)		担当部署	職員 出席者	備考	行政	まち づくり	人権 防災	区 域	項 目	健康・福祉	農林 業	商工 業	観光	学校 教育	社会 教育	議会 相談	遺 産・ 文化	マイ ナ ン バ ー	計		
							男	女																				
14	H28.8.1	H28.9.26	9:30~	上野田老人クラブ	マイナハンバー制度とそ の活用について(申 請用写真撮影サービ ス)	上野田公民館	4	16	企画総務 部・市民 課	名畑次長 牛谷課長															1	1		
15	H28.8.1	H28.8.20	9:30~ 11:00	(株)ウエスト神姫山 崎営業所	栗栗市の地理と歴史に ついて(乗客への観光案 内)	神姫バス山崎営業所 2階			社会教育 文化財課	田路課長												1			1			
16	H28.8.4	H28.8.24	10:00~ 11:30	倉床自治会	マイナハンバーの取り組 みについて	倉床公民館			地域創生 課	名畑次長 福田主査																1		
17	H28.8.23	H28.9.17	19:30~ 20:00	構自治会	認可地縁団体制度に ついて	構公民館	20	3	市民協働 課	西嶋副課 長			1													1		
18	H28.8.29	H28.10.1	15:00~ 17:00	谷自治会	有害鳥獣対策	谷公民館	17	1	農業振興 課	藤井主査								1								1		
19	H28.9.16	H28.11.30	13:30~ 15:00	栗栗市消費者協会	ゴミの減量化と新分別 収集	市役所北庁舎4階	0	17	環境課	大西係長						1										1		
20	H28.9.20	H28.10.9	9:30~ 11:00	下野田自治会	認知症について	下野田公民館	14	24	一宮保健 福祉課	栗山主任 保健師																1		
21	H28.9.22	H28.10.30	14:00~ 16:00	市民オンブズマンの会 「オープンしそふ」	平成28年度予算に対 する質問と提案につい ての回答説明	防災センター4F 会 議室2	5	1	財務課	名畑次長、 世良次長、 山本課長、 砂町課長、 佐藤課長		1														1		
22	H28.10.5	H28.10.17	10:00~ 11:00	能倉自治会	マイナハンバー制度と利 活用	福田公民館	3	9	企画総務 部・市民 課	名畑次長 牛谷課長																1		
23	H28.10.17	H28.11.20	10:00~ 11:00	中広瀬自治会	毎日取り組み健康づく り	中広瀬自治会館	15	24	健康増進 課	岸根主任 柴葉士							1									1		
24	H28.11.4	H28.12.3	19:00~ 21:00	三方町自治会	ふるさとの歴史を知り、 郷土愛を育む	センター三方	34	22	社会教育 文化財課	田路課長												1				1		
25	H28.11.13	H28.11.13	10:00~ 11:00	倉床自治会	資源ごみコンテナ収集 のモデル事業について	倉床公民館	10	15	環境課	市民生活部 次長、大西 係長、山根 主査						1										1		
26	H28.11.16	H28.12.4	10:00~ 11:00	西公文老人クラブ	100歳まで元気で生き よう	西公文公民館	28	37	健康増進 課	中野課長							1									1		
								720				3	1.5	0	2.5	0	0	2.5	4	0	0	0	2	0	0	0	4	26

平成29年12月7日

平成28年度 地域づくり懇談会 実施状況

受付番号	申請団体名	実施日	時間	場所	テーマ	出席人数
1	神谷自治会	H28.6.26	19:00～ 20:30	神谷公民館	これからのまちづくり	25
2	高所自治会	H28.11.2	19:30～ 21:00	高所公民館	今後の山崎花菖蒲園について	9
3	出石自治会	H28.11.16	19:00～ 20:00	出石公民館	宅地開発及び歩道について	10
4	岩野辺自治会	H28.11.30	19:00～ 20:30	岩野辺公民館	これからの自治会活動について	37
5	段自治会	H28.12.4	10:00～ 11:30	段公民館	行政と自治活動を繋ぐもの	20
6	昭和会	H28.2.17	19:00～ 21:00	市役所庁議室	市政等について	20
7	一宮北校区保護者	H29.3.22	19:30～ 21:30	センター三方	幼保一元化について	20
8	宍粟市i考会	月1×12月	7:45～ 9:00	一宮市民局	宍粟市i考会(8人×12回)	96
合 計					19回	237

平成28年度 おしかけ市長懇談会 実施状況

受付番号	団体名	実施日	時間	場所	テーマ	出席人数
1	保育所民間部会	H28.6.23	15:00～ 16:30	503委員会室	今後の幼保一元化の推進について	9
合 計					1回	9

集計	実施回数	20回 (団体)	出席人数合計	246
----	------	----------	--------	-----

宍粟市パブリックコメント実施一覧

【平成27年度】

	計画等(案)名	募集期間	意見者数	意見件数
1	第2期宍粟市地域福祉計画(案)	5/12～6/11	1人	33件
2	宍粟市地域防災計画の改訂(案)	8/3～9/2	0人	0件
3	第2次宍粟市総合計画(案)	8/10～9/10	0人	0件
4	第3次宍粟市行政改革大綱(案)	8/18～9/18	0人	0件
5	宍粟市過疎地域自立促進計画(案)	10/21～11/19	1人	3件
6	宍粟市手話言語条例(案)	12/8～1/6	1人	4件
7	宍粟市公共施設等総合管理計画(案)	1/15～2/15	3人	5件
8	第2次宍粟市環境基本計画	2/20～3/20	0人	0件
9	第2次宍粟市配偶者等からの暴力対策基本計画(案)	2/22～3/22	0人	0件
10	宍粟市一般廃棄物処理基本計画・中間見直し(素案)	3/5～4/5	0人	0件

【平成28年度】

	計画等(案)名	募集期間	意見者数	意見件数
1	宍粟市耐震改修促進計画(改定案)	3/28～4/27	0人	0件
2	ふるさと宍粟の観光基本計画(第2次)	1/25～2/23	0人	0件
3	宍粟市社会教育推進計画(後期計画)(案)	1/25～2/23	0人	0件

広聴事業部会 部会検討イメージ (案)

- | | | |
|-----|----------------|------------------------|
| 第1回 | H29. 12 (合同) | 昨年、今年度の取組みの確認、課題、流れの共有 |
| 第2回 | H30. 2 (単独) | 近隣の市町視察又は他市町の事例の紹介 |
| 第3回 | H30. 5 (合同) | 今後の展開の方向性の決定 |
| 第4回 | H30. 7 (単独) | 宍粟で取り組むべき事業の整理 (1回) |
| 第5回 | H30. 9 (合同) | 宍粟で取り組むべき事業の整理 (2回) |
| 第6回 | H30. 11 (単独) | 部会としてまとめ、報告 |
| 第7回 | H30. 12 (全体会議) | 各部の報告会 (最終) |